

# 環境・安全シンポジウム「化学物質のリスクアセスメント」

主催：日本化学会 環境安全推進委員会

会期 3月18日(土) 13時30分-16時50分

会場 日本化学会第97春季年会 S9会場

慶應義塾大学 日吉キャンパス 第4校舎 独立館3階 D312教室

(神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1)

## 趣旨

大学および研究施設における安全のレベルアップに向けた関係者の啓発および情報交換を目的として環境安全推進委員会主催のシンポジウムを開催する。

大学および研究施設では、使用する化学物質やその使用法は工場などの事業所のように画一的ではないため、実験ごとに危険を把握して対策することが求められる。そのため、物質や作業の潜在危険性を洗い出すリスクアセスメントは、実験安全のレベルアップの有効なツールとして期待されている。化学物質のリスクアセスメントが労働安全衛生法で義務化された機会に、リスクアセスメントの手法と大学や研究施設での有効な活用について考え、情報交換するために本シンポジウムを企画した。化学会年会という場を活用して、多くの関係者に参加頂き、有用な意見・情報交換の場としたい。

## プログラム

座長 土橋 律 (東京大学)

13:30-13:40 挨拶と趣旨説明

土橋 律 環境安全推進委員会 防災小委員会 委員長／  
東京大学大学院工学系研究科 教授

13:40-14:30 化学物質のリスクアセスメントの進め方 (研究機関、化学産業向け)

島田 行恭 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 上席研究員

14:30-14:40 休憩

14:40-15:30 大学における化学物質リスクアセスメントの活用事例

山本 仁 大阪大学 安全衛生管理部 教授

15:30-16:20 化学物質のリスクアセスメントとラボのリスク軽減

村田 静昭 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授

16:20-16:50 総合討論

参加費 無料 希望者には別途資料を有料配布 (1,000円)

申込 直接会場にお越し下さい。13:00より受付開始します。

問い合わせ 日本化学会 企画部 河瀬

電話 (03) 3292-6163、 E-mail: env\_safe@chemistry.or.jp

## その他

当日、シンポジウム会場前の受付にて「安全な実験室管理のための化学安全ノート 第3版」を販売します。なお、販売する書籍は展示会場(日吉記念館)の丸善出版ブースでもお求め頂けます。